

# 総務課



## 総務課業務概要

### 1 地域保健の総合的な推進

船橋市地域保健推進協議会及び部会を開催し、地域保健対策に関する事項を協議した。  
また、医師・保健師・管理栄養士等を目指す学生の地域保健実習と、卒業後2年目の医師の地域保健臨床研修を実施した。

### 2 厚生統計調査業務

厚生行政の施策等の基礎資料を得るため、人口動態調査・国民生活基礎調査などを実施した。なお、調査結果は保健所事業年報の作成にも参考とした。

### 3 栄養改善事業

特定給食施設等に対し、栄養管理等について巡回指導を行うとともに、給食施設管理者および従事者の資質の向上を図るため研修会を実施した。

また、栄養表示基準等の適切な実施に努めるため、虚偽誇大広告等の監視や製造業者に対する相談指導を行った。

### 4 調理師法関係業務

千葉県調理師試験の施行に併せて受験案内を配布し、願書の受付をした。また、調理師免許の申請受付業務を行った。

### 5 医事薬事業務

医療法、薬事法等をはじめ関係法令に基づく許認可、届出等の事務及び医師等の免許の経由事務を行った。また、病院、診療所、薬局、医薬品販売業者等に対し、主に構造設備や衛生面等の観点から医療法や薬事法等に適合し、適正な管理運営を行っているか立入検査を行った。

### 6 検査業務

検査業務は、臨床検査、微生物学的検査、食品衛生検査、環境衛生検査に大きく分け実施している。

臨床検査としては、原子爆弾被爆者に対する健康診断としての尿検査、結核の精密検査及び接触者の健診としての喀痰検査、エイズ感染防止のための検査として HIV 抗体検査を実施した。また、HIV 抗体検査受付者のうち、クラミジア抗体検査、梅毒検査を希望する者に対して実施した。

微生物学的検査としては、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律と検疫法に基づき、感染症の発生時及び検疫通報に伴う病原微生物検査、通常時における腸内細菌検査を実施した。

食品衛生検査としては、食品衛生法に基づき衛生指導課食品指導係が収去した食品について、微生物学的検査と理化学的検査を実施した。食品微生物学的検査については、細菌数及び病原起因菌について検査を実施した。食品理化学的検査については、保存料・甘味料等の検査を実施した。

また、食中毒及び有症苦情等に関して病因細菌検査及びノロウイルス検査を実施した。

環境衛生検査としては、レジオネラ属菌の感染予防を目的として公衆浴場等の検査を実施した。

## 1. 地域保健の総合的な推進

### (1) 船橋市地域保健推進協議会

母子保健や老人保健に係る施策及び保健所の運営等に関することを協議するために設置し協議会を開催した。

開催年月	主な協議内容
平成 23 年 1 月	平成 21 年度船橋市保健所事業報告等について

### (2) 学生実習実施状況

学 校 名 等	人 数	日 数
【看護師】 社会保険船橋保健看護専門学校	33	1
【保健師】 順天堂大学 千葉県医療技術大学校	9 2	10 4
【医師】 千葉大学 獨協医科大学	3 2	2 4
【養護教諭】 千葉大学	4	3
【栄養士】 和洋女子大学 女子栄養大学 聖徳大学	1 1 2	2 4 2
【薬剤師】 船橋薬剤師会	135	3
計	192	35

### (3) 臨床医師研修実施状況

臨床研修実施病院名（協力型病院名）	人 数	日 数
船橋市立医療センター ※ 2 人 1 組で各 2 週間	2	15
	4	30
	4	30
計	10	75

## 2 衛生統計調査

### (1) 人口動態総覧

#### ① 年次別人口動態総覧

年次	出生		死亡		自然増加		乳児死亡 (1年未満再掲)		新生児死亡 (生後28日未満再掲)		死産		婚姻		離婚		人口
	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (人口千対)	実数	率 (出生千対)	実数	率 (出生千対)	実数	率 (出産千対)	件数	率 (人口千対)	件数	率 (人口千対)	
3	5,002	9.3	2,368	4.4	2,634	4.9	21	4.2	13	2.6	158	30.6	3,487	6.5	755	1.41	535,572
4	4,833	9.0	2,474	4.6	2,359	4.4	20	4.1	10	2.1	175	34.9	3,577	6.7	789	1.47	537,614
5	4,913	9.1	2,509	4.6	2,404	4.5	33	6.7	21	4.3	148	29.2	3,932	7.3	743	1.38	539,740
6	5,376	9.9	2,585	4.8	2,791	5.2	15	2.8	9	1.7	120	21.8	4,015	7.4	870	1.61	540,306
7	5,264	9.7	2,651	4.9	2,613	4.8	16	3.0	7	1.3	125	23.2	4,212	7.8	860	1.59	540,817
8	5,424	10.0	2,635	4.8	2,789	5.1	15	2.8	5	0.9	155	27.8	4,126	7.6	882	1.62	543,561
9	5,433	10.0	2,704	5.0	2,729	5.0	20	3.7	11	2.0	137	24.6	3,834	7.0	924	1.69	545,299
10	5,383	9.8	2,863	5.2	2,520	4.6	21	3.9	13	2.4	142	25.7	3,989	7.3	980	1.79	547,721
11	5,356	9.7	3,052	5.6	2,304	4.2	15	2.8	7	1.3	130	23.7	3,921	7.1	1,043	1.90	549,888
12	5,630	10.2	3,056	5.6	2,574	4.7	16	2.8	9	1.6	146	25.3	4,083	7.4	1,138	2.07	550,074
13	5,448	9.8	3,066	5.5	2,382	4.3	14	2.6	10	1.8	132	23.7	4,020	7.3	1,197	2.16	553,598
14	5,515	9.8	3,125	5.6	2,390	4.3	11	2.0	6	1.1	149	26.3	3,972	7.1	1,177	2.10	559,956
15	5,501	9.7	3,274	5.8	2,227	3.9	23	4.2	13	2.4	138	24.5	3,960	7.0	1,156	2.04	565,383
16	5,478	9.6	3,335	5.9	2,143	3.8	18	3.3	6	1.1	116	20.7	3,787	6.7	1,196	2.11	567,887
17	5,329	9.4	3,608	6.3	1,721	3.0	16	3.0	7	1.3	159	29.0	4,010	7.0	1,220	2.14	569,835
18	5,506	9.6	3,605	6.3	1,901	3.3	19	3.5	10	1.8	144	25.5	3,978	6.9	1,119	1.95	574,985
19	5,632	9.6	3,837	6.6	1,795	3.1	15	2.7	9	1.6	144	24.9	3,933	6.7	1,132	1.94	584,215
20	5,774	9.8	3,788	6.4	1,986	3.4	10	1.7	3	0.5	131	22.2	4,025	6.8	1,106	1.87	591,720
21	5,921	9.9	3,931	6.6	1,990	3.3	15	2.5	9	1.5	131	21.6	3,994	6.7	1,142	1.90	600,025
22	5,830	9.6	4,223	6.9	1,607	2.6	10	1.7	5	0.9	128	21.5	3,894	6.4	1,167	1.92	609,040

※ 自然増加：出生数から死亡数を減じたもの

※ 乳児死亡率、新生児死亡率は出生1,000対、死産率は出産（出生＋死産）1,000対

※ 人口は各年10月1日現在の常住人口を用いた

（平成7年、平成12年、平成17年、平成22年は国勢調査）

## ②人口動態月別実数

(単位:人)

区分	出生			死亡						死産				婚姻	離婚			
	総数	男	女	総数	男	女	乳児死亡 (1歳未満)			新生児死亡 (生後28日未満)			総数			自然	人工	不明
							総数	男	女	総数	男	女						
総数	5,830	3,038	2,792	4,223	2,338	1,885	10	4	6	5	2	3	128	75	53	-	3,894	1,167
1月	472	243	229	402	220	182	-	-	-	-	-	-	5	3	2	-	276	69
2月	460	251	209	342	201	141	-	-	-	-	-	-	10	8	2	-	371	92
3月	477	235	242	375	214	161	2	1	1	-	-	-	13	10	3	-	382	125
4月	464	249	215	351	172	179	1	-	1	-	-	-	14	3	11	-	302	108
5月	470	240	230	331	195	136	-	-	-	-	-	-	13	8	5	-	317	87
6月	509	256	253	320	182	138	-	-	-	-	-	-	12	8	4	-	279	101
7月	512	253	259	351	213	138	1	-	1	1	-	1	11	6	5	-	324	113
8月	525	288	237	345	190	155	1	1	-	-	-	-	10	7	3	-	276	113
9月	506	251	255	349	189	160	4	2	2	3	2	1	11	7	4	-	243	93
10月	499	255	244	344	182	162	1	-	1	1	-	1	11	8	3	-	402	81
11月	446	234	212	330	180	150	-	-	-	-	-	-	9	1	8	-	363	87
12月	490	283	207	383	200	183	-	-	-	-	-	-	9	6	3	-	359	98

## ③周産期死亡の状況 (平成22年)

区分	周産期死亡		総数	率 (出産千対)
	妊娠満22週 以後の死産	早期新生児 死亡		
周産期死亡数	21人	3人	24人	4.1

※ 死産とは、妊娠満12週以後の死児の出産をいう。

※ 自然死産と人工死産

人工死産とは、胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置を加えたことにより死産に至った場合をいう。

但し、次の場合は自然死産となる。

- (1)胎児を出生させることを目的として、人工的処置を加えたにもかかわらず死産した場合
- (2)母体内の胎児が生死不明であるとき、又は死亡しているときに人工的処置を加えて死産した場合

※ 周産期死亡とは、妊娠満22週以後の死産と生後7日未満の早期新生児死亡を合わせたものである。

※ 周産期死亡率は出産(出生+妊娠満22週以降の死産)千対である。

(2) 死亡統計

① 死亡順位の年次推移及び千葉県・全国との比較

(死亡率 人口/10 万人対)

順位	平成 20 年 (船橋市)			平成 21 年 (船橋市)			平成 22 年 (船橋市)			平成 22 年 (千葉県)			平成 22 年 (全国)		
	死因	死数	死亡率	死因	死数	死亡率	死因	死数	死亡率	死因	死数	死亡率	死因	死数	死亡率
1	悪性新生物	1,234	208.5	悪性新生物	1,203	200.5	悪性新生物	1,338	219.7	悪性新生物	15,031	p241.8	悪性新生物	353,499	279.7
2	心疾患	679	114.8	心疾患	762	127.0	心疾患	756	124.1	心疾患	8,761	p140.9	心疾患	189,360	149.8
3	脳血管疾患	413	69.8	脳血管疾患	421	70.2	脳血管疾患	413	67.8	肺炎	5,012	p80.6	脳血管疾患	123,461	97.7
4	肺炎	336	56.8	肺炎	337	56.2	肺炎	374	61.4	脳血管疾患	4,994	p80.3	肺炎	118,888	94.1
5	自殺	120	20.3	自殺	122	20.3	自殺	113	18.6	老衰	1,843	p29.6	老衰	45,342	35.9
6	不慮の事故	90	15.2	不慮の事故	110	18.3	老衰	112	18.4	不慮の事故	1,575	p25.3	不慮の事故	40,732	32.2
7	老衰	74	12.5	糖尿病	92	15.3	不慮の事故	106	17.4	自殺	1,329	p21.4	自殺	29,554	23.4
8	腎不全	63	10.6	老衰	85	14.2	腎不全	79	13.0	腎不全	878	p14.1	腎不全	23,725	18.8
9	肝疾患	58	9.8	腎不全	73	12.2	肝疾患	68	11.2	大動脈瘤及び 動脈解離	654	p10.5	慢性閉塞性 肺疾患	16,293	12.9
10	糖尿病	42	7.1	肝疾患	62	10.3	大動脈瘤及び 動脈解離	62	10.2	肝疾患	640	p10.3	肝疾患	16,216	12.8

※ 平成 22 年の船橋市の死亡率は、平成 22 年国勢調査結果(平成 22 年 10 月 1 日現在)を基に算出。

※ 平成 22 年の千葉県の死亡率は、千葉県が平成 22 年国勢調査の千葉県速報(独自)集計を用いて暫定的に算出したもので暫定的数値である。

② 死亡順位別死亡男女別数 (平成 22 年)

(単位:人)

順位	総計		順位	男性		順位	女性	
	死因	死亡数		死因	死亡数		死因	死亡数
	総数	3,421		総数	1,958		総数	1,508
1	悪性新生物	1,338	1	悪性新生物	807	1	悪性新生物	531
2	心疾患	756	2	心疾患	393	2	心疾患	363
3	脳血管疾患	413	3	脳血管疾患	225	3	脳血管疾患	188
4	肺炎	374	4	肺炎	213	4	肺炎	161
5	自殺	113	5	自殺	75	5	老衰	85
6	老衰	112	6	不慮の事故	64	6	腎不全	44
7	不慮の事故	106	7	肝疾患	40	7	不慮の事故	42
8	腎不全	79	8	慢性閉塞性肺疾患	38	8	自殺	38
9	肝疾患	68	9	腎不全	35	9	肝疾患	28
10	大動脈瘤及び 動脈解離	62	10	糖尿病	34		大動脈瘤及び 動脈解離	28
					大動脈瘤及び 動脈解離	34	10	糖尿病

### ③部位別悪性新生物死亡状況

(単位：人)

区 分	死 亡 数		
	計	男 性	女 性
総 数	1,338	807	531
口唇・口腔及び咽頭	26	15	11
食道	59	51	8
胃	182	119	63
結腸	115	67	48
直腸S状結腸移行部及び直腸	61	32	29
肝及び肝内胆管	111	78	33
胆のう及びその他の胆道	58	33	25
膵	100	50	50
喉頭	1	-	1
気管・気管支及び肺	268	188	80
皮膚	7	6	1
乳房	66	.	66
子宮	15	.	15
卵巣	24	.	24
前立腺	40	40	.
膀胱	20	14	6
中枢神経系	11	7	4
悪性リンパ腫	30	21	14
白血病	30	21	9
その他のリンパ組織、造血組織及び関連組織	15	9	6
その他	94	56	38

### (3) 出生統計

平成22年の出生数5,830人で出生率(人口千対)は9.6%である。出産順位別では、1児が51.6%、2児は36.9%、3児は9.7%の順となっている。

また、母の年齢は30～34歳が2,226人で一番多く、次いで25～29歳の1,584人となっている。



①母の年齢（5歳階級）・出産順位別出生児数（平成22年）

（単位：人）

区分	総数	15歳未満	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50歳～	不詳
1児	3,010	—	36	298	994	1,067	514	99	2	—	—
2児	2,153	—	3	108	481	891	594	74	2	—	—
3児	566	—	—	17	91	235	189	34	—	—	—
4児	77	—	—	1	15	27	28	6	—	—	—
5児	17	—	—	—	3	3	9	2	—	—	—
6児	3	—	—	—	—	1	1	1	—	—	—
7児	2	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
8児以上	2	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
計	5,830	—	39	424	1,584	2,226	1,337	216	4	—	—

②合計特殊出生率の年次推移

区分	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年
船橋市	1.30	1.29	1.27	1.24	1.21	1.25	1.21	1.20	1.19	1.18	1.20	1.25	1.28	1.31	1.35	p1.33
千葉県	1.36	1.33	1.28	1.26	1.22	1.30	1.24	1.24	1.20	1.22	1.22	1.23	1.25	1.29	1.31	p1.32
全国	1.42	1.43	1.39	1.38	1.34	1.36	1.34	1.32	1.29	1.29	1.26	1.32	1.34	1.37	1.37	1.39

※ 合計特殊出生率とは、15～49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、一人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子どもの数に相当する。

※ 平成22年の船橋市と千葉県の数値は、千葉県ホームページ「合計特殊出生率の推移 全国・千葉県と合計特殊出生率の推移 市町村別の表（平成23年11月25日現在）」による暫定的数値である。

③出生時の施設、立会い者別数及び率（平成22年）

（単位：人）

計	施設別					立会者別		
	病院	診療所	助産所	自宅	その他	医師	助産師	その他
5,830	3,684	2,103	27	14	2	5,766	62	2
率 (%)	63.19	36.07	0.46	0.24	0.03	98.90	1.06	0.03

④出生児の性、体重別（平成22年）

（単位：人）

体重g 性別	999以下	1,000～1,499	1,500～1,999	2,000～2,499	2,500～2,999	3,000～3,499	3,500～3,999	4,000以上	不詳	計
男	9	15	29	192	1,033	1,336	399	24	1	3038
女	9	15	31	228	1,158	1,078	256	16	1	2792
計	18	30	60	420	2,191	2,414	655	40	2	5830

(4)死産統計（平成22年）

母の年齢別死産胎数

（単位：人）

区分	総数	19歳以下	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45歳以上	不詳
自然	75	1	6	18	25	20	4	1	-
人口	53	4	11	16	7	12	3	-	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総数	128	5	17	34	32	32	7	1	-

(5)婚姻統計（平成22年）

平均初婚年齢

区分	初 婚	
	夫	妻
船橋市	30.8歳	29.0歳
千葉県	31.0歳	29.1歳
全 国	30.5歳	28.8歳

(6)離婚統計

同居期間毎に離婚件数をみると、5年未満が全体の33.4%を占め、次いで5年以上10年未満が20.9%と同居期間が短いほど離婚率が高い傾向となっている。

同居期間別にみた離婚件数（平成22年）

同居期間	離婚件数	率 (%)
1年未満	75	6.4
1年以上～2年未満	81	6.9
2年以上～3年未満	82	7.0
3年以上～4年未満	71	6.1
4年以上～5年未満	82	7.0
5年以上～10年未満	244	20.9
10年以上～15年未満	123	10.5
15年以上～20年未満	99	8.5
20年以上～25年未満	76	6.5
25年以上～30年未満	40	3.4
30年以上～35年未満	32	2.7
35年以上	30	2.6
不詳	132	11.3
合 計	1,167	100.0
平均同居期間（年）	10.7	-

## (7)その他の統計等

## 統計調査等の状況

調査名	調査目的	平成22年度実績
1. 国民生活基礎調査 (世帯票・健康票・介護票)	国民生活の基礎的事項を把握し厚生労働行政の企画運営に必要な基礎資料を得るとともに、各種調査の親標本を設定するため実施。	調査日 6月3日 対象地区 8地区 対象世帯 473世帯
2. 衛生行政報告例	中核市における衛生行政の実態を把握し、衛生行政運営の基礎資料とする。	毎年5月末までに報告
3. 地域保健・老人保健事業報告	地域住民の健康保持及び増進のために実施している保健事業を把握し、地域保健施策の効率・効果的な推進の基礎資料とする。	毎年6月末までに報告
4. 社会保障・人口問題基本調査	入学、就職、結婚という節目による移動の動向を明らかにすることにより、人口高齢化とそれに伴う地域人口の変動に対応するための基礎資料とする。	調査日 6月25日 対象地区 5地区
5. 医療施設調査	病院及び診療所の分布と整備の実態を明らかにし、医療施設の診療機能を把握し、医療行政の基礎資料とする。	動態調査 毎月報告 対 象 開設、廃止、変更等のあった医療機関
6. 病院報告 (患者票)	病院における患者の利用状況を把握し、医療行政の基礎資料とする。	毎月報告 対 象 市内23医療機関
7. 病院報告 (従事者票)	病院の従事者の状況を把握し医療行政の基礎資料とする。	調査日 毎年10月1日 対 象 市内23医療機関
8. 医師・歯科医師・薬剤師調査	全国の医師・歯科医師・薬剤師の分布と就業の実態を把握し、医療行政の基礎資料を得るため実施。	調査日 2年毎の12月31日
9. 医療従事者業務従事者届	厚生労働省令に定める看護従事者、歯科衛生士、歯科技工士の届出調査	調査日 2年毎の12月31日 届出先 都道府県知事

## (8) 母体保護法関係

### ① 母体保護統計

母体保護法の規定に基づいて医師から届出のあった不妊手術及び人工妊娠中絶の報告をもとに作成したもので、22年度不妊手術の報告件数は0件、人工妊娠中絶については712件であった。

人工妊娠中絶年齢・妊娠週数別件数

(単位：件)

区分	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度	20歳 未満	20～ 24歳	25～ 29歳	30～ 34歳	35～ 39歳	40～ 44歳	45～ 49歳
7週 以前	355	329	287	20	50	58	53	63	38	5
8～11 週	454	355	367	49	76	59	90	59	32	2
12～15 週	40	25	29	3	5	9	4	5	3	-
16～19 週	33	26	22	3	6	3	3	5	2	-
20～21 週	19	9	7	3	1	-	-	2	1	-
計	901	744	712	78	136	129	150	134	76	7

※ 管内の医師より届出されたもので、届出数は管外者も含む。

### ② 受胎調節実地指導員指定申請件数

22年度は新規申請2件を千葉県に進達した。

区分	新規申請件数
平成20年度	2件
平成21年度	6件
平成22年度	2件

### 3 栄養改善事業

#### (1) 給食施設指導

給食施設の栄養管理・衛生管理の向上と食中毒等の事故防止を図るため、巡回個別指導を実施した。また、集団指導では、給食施設管理者及び従事者を対象に研修会等を開催した。

#### ①給食施設状況

(単位：施設・人)

区 分	施設総数	管理栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもある施設			栄養士のみの施設		管理栄養士・栄養士どちらもない施設	管理栄養士必置施設		栄養成分表示施設数
		施設数	管理栄養士数	施設数	管理栄養士数	栄養士数	施設数	栄養士数		該当数	指定数	
平成20年度	277	79	80	45	78	68	105	112	48	7	7	260
平成21年度	278	84	89	44	80	73	100	111	50	7	7	268
平成22年度	282	78	83	47	93	75	102	114	55	7	7	271

#### ②給食施設指導状況

(単位：施設・回)

区 分			平成20年度	平成21年度	平成22年度	特定給食施設		小規模給食施設
						1回300食以上 又は 1日750食以上	1回100食以上 又は 1日250食以上	1回50食以上 100食未満 又は 1日100食以上 250食未満
個別指導	給食管理指導	巡回個別指導施設数	161	192	195	23	124	48
		その他指導施設数	3	-	94	18	55	21
集団指導	給食管理指導	回数	3	2	3	3	3	3
		延施設数	265	284	284	49	185	50

※ その他指導施設数：電話相談等

### ③給食施設個別巡回指導状況

(単位：施設)

区分	栄養士有無	総数		特定給食施設				小規模給食施設	
				1回300食以上 又は 1日750食以上		1回100食以上 又は 1日250食以上		1回50食以上100食未満 又は 1日100食以上250食未満	
		施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数	施設総数	指導総施設数
平成20年度		277	161	94	53	136	75	47	33
平成21年度		278	192	93	57	137	100	48	35
平成22年度		282	195	93	23	141	124	48	48
計	有	227	142	86	17	108	92	33	33
	無	55	53	7	6	33	32	15	15
学校	有	87	5	72	3	15	2	-	-
	無	11	10	6	5	5	5	-	-
病院	有	23	23	6	6	10	10	7	7
	無	-	-	-	-	-	-	-	-
介護老人 保健施設	有	11	10	-	-	11	10	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-
老人福祉 施設	有	21	21	-	-	16	16	5	5
	無	-	-	-	-	-	-	-	-
児童福祉 施設	有	57	56	1	1	43	42	13	13
	無	4	3	-	-	4	3	-	-
社会福祉 施設	有	7	7	-	-	5	5	2	2
	無	1	1	-	-	-	-	1	1
自衛隊	有	1	1	1	1	-	-	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-
事業所	有	10	10	4	4	6	6	-	-
	無	33	33	1	1	23	23	9	9
一般給食 センター	有	1	1	1	1	-	-	-	-
	無	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	有	9	8	1	1	2	1	6	6
	無	6	6	-	-	1	1	5	5

### ④給食施設開始・変更及び廃止指導状況

(単位：件)

区分	新規給食開始	給食施設変更	給食施設廃止（休止）
届出数	5	79	6
指導数	5	79	6

### ⑤給食施設管理者・栄養士・調理従事者研修会

研修会名	開催月日	主な内容	参加人員	備考
給食施設 従事者研修会	平成 22 年 6 月 9 日	(1)講演 「給食施設の衛生管理について」 衛生指導課（食品衛生監視員） (2)講演 「給食施設での千産千消の進め方」 農業センター副主幹 今井 茂 (3)説明 「ふなばし健やかプラン21(後期)概要について」 健康政策課 (4)説明 「ちば型食生活資料について」 保健所総務課 栄養担当	157 人	共催
給食施設設置者・ 管理者・従事者等 研修会	平成 23 年 1 月 13 日	(1)講演 「健康にとって本当に必要な食事・運動・休養」 講師 (株)ヘルシーピット 代表取締役 杉本 恵子 (2)事例発表 「老人福祉施設における非常・災害時の食事提供 について」 軽費老人ホーム福寿荘 (3)報告 「給食施設における非常時の食料備蓄及び体制 の状況について」 保健所総務課 栄養担当	166 人	共催
給食施設 (児童福祉施設) 従事者研修会	平成 23 年 2 月 17 日	(1)講演 「食育計画の立て方」 講師 千葉県立保健医療大学 教授 渡邊 智子 (2)情報交換(食育・災害対応等)	44 人	

※ 船橋市保健所管内集団給食協議会と共催

### (2)市民向け栄養指導

公開講座	平成 22 年 9 月 13 日	講演 「ゴールドを目指せ！ ～強い選手をつくる「食」のすべて～」 講師 立命館大学スポーツ健康科学部 教授 海老 久美子	111 人	共催
------	---------------------	---	-------	----

※ 船橋市栄養士会・船橋市保健所管内集団給食協議会と共催

### (3)栄養関係団体育成指導

団体名	回数	参加延人員	主な内容
船橋市栄養士会	15 回	1,068 名	第 24 回ヘルシー船橋フェア参加 総会・理事会・研修会等の開催及び会報の発行 に対し、支援・協力をした。
船橋市調理師会	3 回	67 名	理事会・総会・研修会等の開催に対し、支援・ 協力をした。

船橋市保健所管内集団給食協議会	22回	355名	理事会・総会・研修会・調理実習・施設見学会等の開催及び会報の発行に対し、支援・協力をした。
-----------------	-----	------	---

#### (4) 国民健康・栄養調査

国民の生活状況及び健康状態を調査し、健康づくり対策を進めるための基礎資料として役立てるため、健康増進法に基づき実施している。平成22年度の指定地区は2件であった。

##### 国民健康・栄養調査等実施状況

調査地区（対象）	調査年月日・調査状況	調査内容等
船橋市宮本 17世帯43名	栄養摂取状況調査 実施世帯 10世帯 実施人数 16人 生活習慣調査 平成22年11月9日 身体状況調査 平成22年11月10日	1 身体状況調査 ア 身長・体重 満6歳以上 イ 腹囲 満6歳以上 ウ 血圧 満15歳以上 エ 1日の運動量（歩行数） オ 血液検査 満20歳以上 カ 問診 満20歳以上
船橋市西船 9世帯13名	栄養摂取状況調査 実施世帯 7世帯 実施人数 8人 生活習慣調査 平成22年11月16日 身体状況調査 平成22年11月17日	2 栄養摂取状況調査 ア 世帯状況 イ 食事状況 ウ 食物摂取状況 3 生活習慣調査 20歳以上

#### (5) 健康ちば協力店推進事業

飲食店等が栄養成分表示等を実施することにより、県民が外食等においても食生活管理が行えるようにすることを目的としている。

千葉県主体の事業であるが、船橋市も協力して実施しており、64店が「健康ちば協力店」として登録し店頭に貼るステッカーの交付を受けている。

##### 登録状況

区分		登録数
平成20年度		59店
平成21年度		62店
平成22年度		64店
内訳	飲食店	61店
	チェーン店	—
	コンビニエンスストア	—
	弁当店	1店
	惣菜店	2店



## (6) 食品製造者及び販売者への指導

健康増進法に基づき、食品製造者及び販売者に対して、食品の栄養成分表示に関すること、健康の保持増進の効果等に関する虚偽又は誇大な広告に関する相談、指導を行った。

食品に関する表示指導実施状況 (単位：件)

指導内容	年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
特別用途食品及び特定保健用食品		—(—)	—(—)	—(—)
栄養表示基準について		5	5	4
栄養機能食品について		—	2	1
虚偽誇大広告について		4	1	14
その他一般食品について (いわゆる健康食品を含む)		1	—	—

※ ( )内は特定保健用食品再掲。

## 4 調理師法関係業務

千葉県が実施する調理師試験の施行に併せて受験案内を配布し、願書の受付をした。また、県知事免許である調理師免許の申請受付業務を行った。

調理師試験及び免許取扱状況 (単位：件)

区分	調理師試験			免許交付		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	新規交付	書換交付	再交付
平成 20 年度	166	76	45.8	173	31	37
平成 21 年度	172	67	39.0	147	37	31
平成 22 年度	177	112	63.3	177	38	46

## 5 医事薬事業務

医療法、薬事法等をはじめ関係法令に基づく許認可、届出等の事務及び医師等の免許の経由事務を行った。

また、病院、診療所、薬局、医薬品販売業者等に対し、主に構造設備や衛生面等の観点から医療法や薬事法等に適合し適正な管理運営を行っているか立入検査を行った。

(1)医 事

①医療機関等の状況

(平成23年3月31日現在)

区 分	施 設 数													病 床 数									
	病院		一般 診療所		歯科 診療所		助産所		施 術 所			歯 科 技 工 所	病 院					診 療 所					
	計	地域医療支援	一般・療養	精 神	有 床	無 床	有 床	無 床	有 床	無 床	あん摩・マッサージ・指圧		は り	き ゆう	柔道 整復	計	一 般	療 養	結 核	精 神	感 染	一 般	療 養
平成 20年度	23	-	19	4	17	340	-	303	1	21	232	233	230	178	80	4,249	2,608	302	-	1,335	4	177	-
平成 21年度	23	1	18	4	17	335	-	310	1	21	244	253	250	183	81	4,401	2,521	541	-	1,335	4	177	-
平成 22年度	23	1	18	4	16	341	-	312	1	21	247	256	252	186	81	4,389	2,521	541	-	1,323	4	174	-

(注) 1 施術所数は、業務の種類ごとに計上している。  
2 病床数は、使用許可済数を計上している。

②医療機関等立入検査

(平成22年度)

区分	病院	一 般 診療所	歯 科 診療所	助産所	施術所	(あん摩・マッ サージ・指圧)	(はり)	(きゆう)	(柔道 整復)	歯 工 所	衛 生 検 査 所	計
施設数	23	357	312	22	549	(247)	(256)	(252)	(186)	81	3	1,347
立入件数	25	44	13	-	16	(2)			(14)	-	1	99

(注) 施術所数は、業務の種類ごとに計上している。

(2)薬 事

①薬事法関係施設の状況

(平成23年3月31日現在)

区分 年度	薬 局	一 般 販売業	店 舗 販売業	卸 売 販売業	薬種商 販売業	特 例 販売業	薬局製 剤製造 業	薬局製 剤製造 販売業	高度管理 医療機器 等販売業 ・賃貸業	計
平成20年度	181	39	・	20	6	9	21	21	190	487
平成21年度	181	9	43	23	5	8	21	21	183	494
平成22年度	183	5	55	23	5	7	24	24	199	525

(注) 1 店舗販売業は平成21年6月1日施行薬事法改正により新たに創設された業種。  
2 卸売販売業には卸売一般販売業を含む。

②毒物及び劇物取締法関係施設の状況（平成23年3月31日現在）

（単位：施設）

区分 年度	毒物劇物販売業	毒物劇物業務上取扱者（要届出）	計
平成20年度	143	8	151
平成21年度	141	8	149
平成22年度	139	7	146

③薬事法関係施設立入検査（平成22年度）

（単位：施設）

区分	薬局	一般販売業	店舗販売業	卸売販売業	薬種商販売業	特例販売業	薬局製剤製造業	薬局製剤製造販売業	高度管理医療機器等販売業・賃貸業	計
施設数	183	5	55	23	5	7	24	24	199	525
立入件数	86	10	18	9	1	2	6	6	70	208

④毒物及び劇物取締法関係施設立入検査（平成22年度）

（単位：施設）

区分	毒物劇物販売業	毒物劇物業務上取扱者（要届出）	計
施設数	139	7	146
立入件数	54	1	55

⑤薬事関係講習会

講習会の名称	人数
地区別薬事講習会	157

### (3) 免許申請

(単位：件)

年度 職種	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	新 規	書換え	再交付	抹消
医 師	49	42	36	23	11	1	1
歯科医師	15	14	15	6	8	—	1
薬剤師	141	142	81	19	54	7	1
保健師	40	52	54	28	26	—	—
助産師	13	13	13	7	6	—	—
看護師	306	314	350	152	186	11	1
准看護師	66	76	56	19	23	14	—
臨床検査技師	27	23	26	10	14	2	—
衛生検査技師	4	3	36	34	2	—	—
放射線技師	11	14	5	4	1	—	—
理学療法士	50	77	76	62	12	2	—
作業療法士	26	35	33	25	8	—	—
歯科技工士	11	6	7	4	3	—	—
視能訓練士	3	5	2	1	1	—	—
管理栄養士	49	47	60	37	23	—	—
栄養士	105	106	101	55	41	5	—
登録販売者	—	56	39	35	3	1	—
計	916	1,025	990	521	422	43	4

### (4) 医療従事者数

#### ① 医療従事者数

(単位：人)

区分	医師	歯科医師	薬剤師	保健師	助産師	看護師	准看護師	歯科衛生士	歯科技工士
18年	765	396	1,251	144	135	2,187	779	255	66
20年	786	408	1,387	141	145	2,450	735	278	82
22年	775	414	1,388	149	152	2,703	685	359	84

(隔年毎に調査) 各年 12 月 31 日現在

#### ② 年次別医師、歯科医師及び薬剤師の人口 10 万対率

(単位：人)

区分	医師			歯科医師			薬剤師		
	船橋市	千葉県	全国	船橋市	千葉県	全国	船橋市	千葉県	全国
18年	133.0	159.1	217.5	68.9	77.3	76.1	217.6	184.2	197.6
20年	132.8	167.1	224.5	68.9	80.5	77.9	234.3	199.7	209.7
22年	127.2	170.3	230.4	68.0	79.6	79.3	227.9	197.1	215.9

※ 隔年毎に調査 (各年 12 月 31 日現在)

## (5) 医療安全相談

医療安全相談窓口を設置し、市民の医療に関する相談・苦情を受け付けた。

### ①相談内容

相談内容	件数
医療費に関すること	23
医療行為・医療内容に関すること	78
健康相談に関すること	90
医療機関情報に関すること	35
医療事故・過誤の判断・対応方法に関すること	13
転院の相談に関すること	5
医薬品に関すること	19
医療機関従事者の接遇に関すること	17
説明不足に関すること	3
個人情報保護法に関すること	4
診療拒否に関すること	4
セカンドオピニオンに関すること	2
上記以外の医療関連法規に関すること	5
その他	82
計	380

### ②相談者性別

性別	件数
男	124
女	235
不明	21
計	380

### ③ 相談方法

相談方法	件数
電話	363
来所	15
文書	2
メール	-
計	380

## (6) 薬物乱用防止対策

近年、覚せい剤による中毒者が急増し、一般市民層、特に青少年や主婦層にまで広がっており、社会的な問題となっている。

千葉県薬物乱用防止指導員船橋市地区協議会には 37 名の薬物乱用防止指導員がおり、地域啓発活動を実施している。

「ダメ。ゼッタイ。」普及運動及び麻薬・覚せい剤乱用防止運動期間中に、指導員の協力を得て、街頭啓発活動を実施した。

## 6 検査業務

### (1) 臨床検査

尿検査は、原子爆弾による被爆者の健康診断として年2回実施した。

喀痰検査は、結核予防対策として結核患者の家族及び接触者に対して実施した。

H I V抗体検査は、エイズ予防事業として毎月第2・第4火曜日に実施し、年4回休日検査を実施した。また、H I V抗体検査と同時に検査希望者に対しクラミジア抗体検査と梅毒検査を平行して実施した。

#### 臨床検査実施状況

(単位：件数)

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度	
尿	糖	46	44	37	
	蛋白	46	44	37	
	潜血	46	44	37	
	ウロビリノーゲン	46	44	37	
喀痰	結核菌	塗抹鏡検	13	18	3
		培養	13	18	3
血液	血清	H I V抗体	874	637	657
		クラミジア抗体	599	337	429
		梅毒	632	351	449

### (2) 細菌検査

#### ① 感染症発生時及び検疫通報等に伴う病原細菌検査実施状況

医療機関からの感染症の届出による患者・経過者検査及び接触者等について検査を実施した。また、検疫者からの通報及び感染を疑っている人の自主申告に基づいての検査を実施した。

(単位：件数)

区 分	便					食品等	拭取り	その他
	患者・経過者	家族・接触者	検疫通報	自主申告				
				渡航者の感染を疑う者	その他感染を疑う者			
平成20年度	34	90	-	-	6	-	-	3
平成21年度	23	27	-	-	-	-	-	-
平成22年度	12	30	-	-	-	-	-	-
項目内訳	赤痢菌	5	9	-	-	-	-	-
	チフス菌	-	-	-	-	-	-	-
	コレラ菌	-	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌	7	21	-	-	-	-	-
菌検出状況	ペロ毒素	-	1	-	-	-	-	-
	赤痢菌	2	-	-	-	-	-	-
	チフス菌	-	-	-	-	-	-	-
	コレラ菌	-	-	-	-	-	-	-
	腸管出血性大腸菌	1	1	-	-	-	-	-

## ②通常時における病原微生物検査実施状況

病原微生物検査（検便）は、食品関係従事者、給食関係従事者及び水道施設従事者等に対して週2回実施した。

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度
項目内訳	赤痢菌	2,715	2,795	3,622
	腸チフス菌	2,709	2,769	3,592
	パラチフス菌	2,709	2,768	3,589
	サルモネラ属菌	2,657	2,780	3,614
	腸管出血性大腸菌 O157	2,264	2,418	3,172
菌検出状況	赤痢菌	-	-	-
	腸チフス菌	-	-	-
	パラチフス菌	-	-	-
	サルモネラ属菌	7	2	3
	腸管出血性大腸菌 O157	-	-	1

## (3)食品衛生検査

食品検査は、衛生指導課により収去された食品について、微生物学的検査、理化学的検査を実施した。また、乳類については乳類の規格検査を実施した。

### ①収去食品細菌検査状況

(単位：件)

区 分		平成20年度	平成21年度	平成22年度
検 体 数		78	96	113
項 目 数		251	315	353
項目内訳	細菌数（生菌数）	67	76	93
	大腸菌群の有無	33	56	60
	大腸菌	44	38	44
	黄色ブドウ球菌	56	72	74
	サルモネラ属菌	4	6	4
	セレウス菌	18	30	30
	腸炎ビブリオ	6	-	-
	腸炎ビブリオ最確数	-	6	12
	その他のビブリオ属菌	-	-	-
	クロストリジウム属菌	5	1	6
	腸管出血性大腸菌 O157	-	-	-
	カンピロバクター属菌	-	-	-
	ウェルシュ菌	18	30	30
違反項目状況	細菌数（生菌数）	1	3	1
	大腸菌群の有無	11	19	12
	大腸菌	1	2	1
	黄色ブドウ球菌	-	1	3
	セレウス菌	5	8	12

②収去食品理化学検査実施状況

(単位：件)

区 分		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
検 体 数		18	42	35
項 目 数		72	66	55
項 目 内 訳	サッカリンナトリウム	-	18	17
	ソルビン酸	18	24	24
	安息香酸	18	-	-
	パラオキニ安息香酸エステル類	18	-	-
	亜硝酸根	6	6	6
	タール色素	12	18	8
	水分活性	-	-	-

③乳類規格試験実施状況

(単位：件数)

区 分		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
検 体 数		6	6	6
項 目 数		24	28	28
項 目 内 訳	細菌数（生菌数）	6	6	6
	大腸菌群	6	6	6
	比重	3	4	4
	酸度	3	4	4
	無脂乳固形分	3	4	4
	乳脂肪分	3	4	4



#### (4)食中毒及び苦情食品等の検査実施状況

食中毒及び苦情食品等について、病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

区 分		計	食品	便	拭取り	その他	
平成 20 年 度	検体数	206	15	117	74	-	
	項目数	2,700	177	1,581	942	-	
平成 21 年 度	検体数	186	28	99	59	-	
	項目数	2,334	396	1,369	569	-	
平成 22 年 度	検体数	146	8	102	36	-	
	項目数	2,375	136	1,627	612	-	
項 目 内 訳	生菌数	-	-	-	-	-	
	大腸菌群	-	-	-	-	-	
	サルモネラ属菌	135	8	91	36	-	
	黄色ブドウ球菌	137	8	93	36	-	
	腸炎ビブリオ	135	8	91	36	-	
	腸管出血性大腸菌	135	8	91	36	-	
	その他の病原性大腸菌	135	8	91	36	-	
	ウェルシュ菌	135	8	91	36	-	
	セレウス菌	135	8	91	36	-	
	エルシニア エンテロコリチカ	135	8	91	36	-	
	カンピロバクター ジェジュニー/コリー	141	8	97	36	-	
	ナグビブリオ	135	8	91	36	-	
	コレラ菌	135	8	91	36	-	
	赤痢菌	135	8	91	36	-	
	チフス菌	135	8	91	36	-	
	パラチフスA菌	135	8	91	36	-	
	その 他の 細菌	エロモナス ヒドロフィラ/ソブリア	135	8	91	36	-
		プレジオモナス シゲロイデス	135	8	91	36	-
		ビブリオ フルビアリス	135	8	91	36	-
		その他の細菌	-	-	-	-	-
ノロウイルス	72	-	72	-	-		
検 出 微 生 物 状 況	サルモネラ属菌	2	-	2	-	-	
	黄色ブドウ球菌	14	-	12	2	-	
	ウェルシュ菌	3	-	3	-	-	
	セレウス菌	3	-	2	1	-	
	カンピロバクター ジェジュニー/コリー	4	-	4	-	-	
	その他の病原性大腸菌	7	-	7	-	-	
	ノロウイルス	21	-	21	-	-	

(5)環境衛生検査

レジオネラ属菌検査は、感染予防を目的として公衆浴場等に対して検査を実施した。

(単位：件)

区 分		平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
検査項目	レジオネラ属菌	7	9	-
	大腸菌群	-	10	-
検出状況	レジオネラ属菌	1	1	-

(6)原因不明の感染性胃腸炎における検査

原因不明の感染性胃腸炎として届出のあったものについて、病因微生物の検査を実施した。

(単位：件)

区 分		計	食品	便	拭取り	その他	
平成 20 年度	検体数	47	-	47	-	-	
	項目数	505	-	505	-	-	
平成 21 年度	検体数	18	-	18	-	-	
	項目数	199	-	199	-	-	
平成 22 年度	検体数	48	-	48	-	-	
	項目数	54	-	54	-	-	
項 目 内 訳	赤痢菌	-	-	-	-	-	
	腸炎ビブリオ	-	-	-	-	-	
	ナグビブリオ	-	-	-	-	-	
	コレラ菌	-	-	-	-	-	
	チフス菌	-	-	-	-	-	
	パラチフスA菌	-	-	-	-	-	
	サルモネラ属菌	-	-	-	-	-	
	黄色ブドウ球菌	-	-	-	-	-	
	カンピロクター ジェジュニー/コリー	-	-	-	-	-	
	ウェルシュ菌	-	-	-	-	-	
	セレウス菌	-	-	-	-	-	
	エルシニア エンテロコリチカ	-	-	-	-	-	
	腸管出血性大腸菌	-	-	-	-	-	
	その他病原性大腸菌	-	-	-	-	-	
	ベロ毒素	-	-	-	-	-	
	その 他 細 菌	エロモナス ヒドロフィラ/ソブリア	-	-	-	-	-
		プレジオモナス シゲロイデス	-	-	-	-	-
		ビブリオ フルビアリス	-	-	-	-	-
	ノロウイルス	48	-	48	-	-	
	アデノウイルス	3	-	3	-	-	
ロタウイルス	3	-	3	-	-		
状 検 出 況	ノロウイルス	47	-	47	-	-	
		-	-	-	-	-	